

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	利用者の高齢化に伴い、身体機能低下、日常生活機能低下がみられ、役割の片寄りやレクリエーションの単一化がみられている。	高齢化や身体機能の低下を考慮し、利用者の機能維持を目標とする。	・利用者個人に合わせた機能訓練の内容の検討と継続を図る。 ・レクリエーションをしながら、身体機能や日常生活機能が維持できる内容を検討し、利用者に継続していただく。	6か月
2	52	家族のアンケートに「冬は寒くて、夏は暑い」との意見があった。 (温・湿度計はホールと洗濯室に設置している)	利用者が快適に居心地良く生活できるように支援する。	・昨年度は猛暑・豪雪だったため、家族は特に感じたと思われるが、各居室への温・湿度計を設置し、検討する。 ・利用者の手の届かない天井扇を各棟に1機設置予定。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。